

平成30（2018）年度 事業報告書

特定非営利活動法人OVA

1 事業の成果

平成30年度は、定款第5条第1項に規定する自殺予防に関する事業に基づき、自殺の危機にある人（主に若年層）に対して、昨年度に引き続き、相談事業（インターネット・ゲートキーパー事業）を展開した。足立区、新宿区、関東の3エリアにおいて実施し合計継続相談者数は283名で、そのうちポジティブな感情の変化や現物の社会資源につながるなどの援助要請行動、援助要請意図などの自殺予防的な変化が認められたのは、全体の46.6%であった。なお、足立区の事業については自治体からの委託事業として実施した。国立精神・神経医療研究センターの革新的自殺研究推進プログラムに採択され、検索連動広告の実験的検証及び、インターネット・ゲートキーパー活動の形式知化（手引きの作成と公表）を行った。

また、厚生労働省の平成30年度若者に向けた効果的な自殺対策推進事業（若者に向けた効果的な自殺対策に関する先駆的実践事業）の補助金交付を受け、検索連動広告の文面及び移動先の相談案内サイトでの行動分析を行う実践的調査を行った。

その他、全国の自治体・民間団体からの依頼を受け、自殺予防の研修会等を実施するとともに、ICTアウトリーチ手法による自治体の地域自殺対策のための調査事業を行った。

定款第5条第2項に規定する心の健康保持増進のための事業に関しては、トヨタ財団より助成を受け、生活課題を抱えているにも関わらず、社会福祉からの支援につながるができていない人々（声なき声）に対し、積極的に支援を届ける仕組みの創造に向け、調査及び発信、事業成果の冊子化・研修の開発・実施を行った。

平成31年度においては、インターネット・ゲートキーパー事業を自治体委託事業として継続的に実施するとともに、声なき声に対するICTアウトリーチ手法の確立と社会への浸透、行政への政策提言を行いながら、誰もが自殺に追い込まれることのない愛あるかわりあいの社会の実現を目指していく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【29,915】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 自殺予防に関する事業	【インターネット・ゲートキーパー事業】 リスティング広告を利用して自殺ハイリスク者にリーチし、主にメール相談を受け、医療・福祉等の必要な社会資源につなぐ等の支援を行うインターネット・ゲートキーパー事業および調査事業	通年	足立区 関東 新宿区	11名	足立区・ 新宿区・ 関東在住 在勤在学 者	283名	24,738

	<p>【若者に向けた効果的な自殺対策に関する先駆的実践事業】</p> <p>より自殺予防効果の高い検索連動広告および相談先案内サイトの定量的研究、それに基づくICTを活用した効果的アウトリーチ実施指針の作成</p>	平成 31 年 2 月～平成 31 年 3 月	東京都 横浜市 全国	4 名	全国の行政・民間の福祉関係者	多数	1,835
	<p>【研修会・調査事業】</p> <p>自殺予防の研修会及び講演会、ICTアウトリーチ手法による地域自殺対策に資する調査事業</p>	通年	兵庫県、 富山県、 福島県、 その他全国各地	5 名	自治体の福祉政策担当者・ 教員・市民	多数	2,300
(2)心の健康保持増進のための事業	<p>【声なき声に支援を届ける一新たなアウトリーチ展開のための調査事業】</p> <p>生活課題を抱えているにも関わらず、社会福祉からの支援につながる事ができていない人々(声なき声)に対する調査事業・仕組みづくり</p>	通年	全国	4 名	全国の行政・民間の福祉関係者	多数	1,041
(3)その他目的を達成するために必要な事業	実施なし						